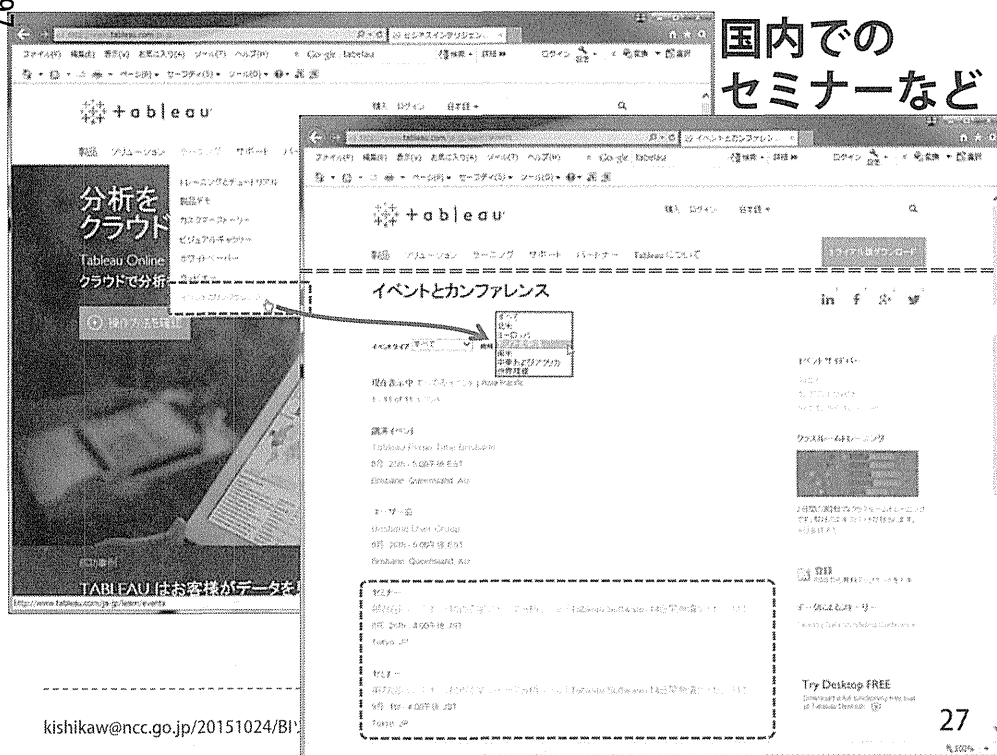


Tableauを使いこなすポイント(3) シートとダッシュボード

- ▶ 集計はシンプルに、単機能のシートを作成
 - クイックフィルターを利用した、インタラクティブなデータの指定・絞り込み
 - ▶ フィルターの設定は複数のシートで共通化できる：シートの連動
- ▶ 複数のシートをダッシュボードに組み込んで、一目でわかる "viz" を作る
 - ダッシュボード内のレイアウトは、"タイル"の並びを意識して
 - ▶ 「グリッド(枠)デザイン」の考え方に親しむ
 - ▶ 左下に表示される 位置(x/y) / サイズ(幅/高さ)を活用
 - 細かなパーツ(凡例など)については、浮動(float)も可能
 - ▶ 最低限度の利用にとどめること

Tableauを使いこなすポイント(3) はまりやすい落とし穴

- ▶ シートの設計時
 - 変数をダブルクリックしてレイアウトがめちゃくちゃに…
 - ▶ ←ボタンで一つ前に戻る
 - ▶ ダブルクリックではなく、必要なところへドロップする
- ▶ ダッシュボードの設計時 うまくいったものがあれば(タブを右クリックして)シートの複製/ダッシュボードの複製を活用
 - シートなどの部品がうまくレイアウトできない
 - ▶ ←ボタンで一つ前に戻る
 - ▶ どのタイルのどの位置に置くのかを考えて、部品を移動する
- ▶ ファイルの保存時
 - 最後に使ったフォルダに保存するようになっている
 - ▶ 開いているファイルのあるフォルダに保存されるわけではない
→名前をつけて保存の時には特に注意を



平成26年度 DPC 病院データベースと
分析マニュアル

平成 26 年度 DPC 病院データベース分析ツール

このデータは、厚生労働省ホームページで公開されている平成 27 年 11 月 16 日 DPC 評価分科会資料 (<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000104146.html>) から作成したデータベースを基に、都道府県別二次医療圏別病院別の診療実績の集計と年次変化の可視化に適した形に加工し、Microsoft Excel[®] のピボット機能を用いて分析できるデータです。

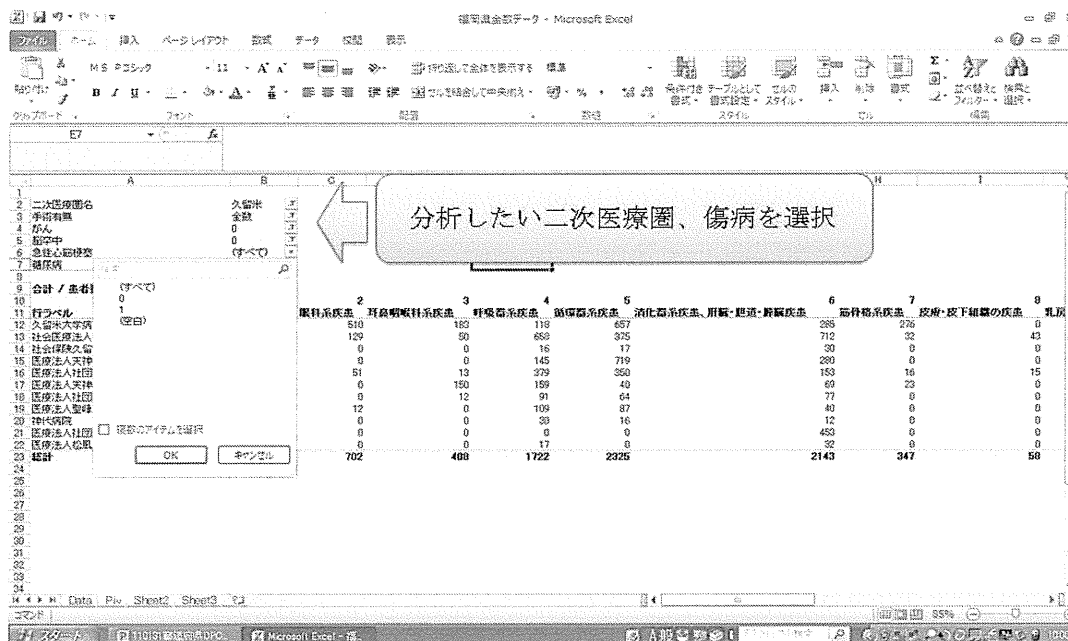
ダウンロードしたデータを元データとして、疾患別(DPC6桁分類別)に提供されている複数の集計結果から、各施設の症例数が最も大きくなる組み合わせのものを選出し、その施設の DPC6桁分類別患者数として採用してデータベースを構築しています。データテーブルの内容は表のようになります。

表. データテーブルの内容

列名	データの例
調査年度	2014
病院番号	00001
病院名	〇〇病院
都道府県コード	01
都道府県名	北海道
二次医療圏コード	0104
二次医療圏名	札幌
MDC コード	14
MDC 名称	新生児疾患、先天性奇形
DPC 傷病名コード	140080
DPC 傷病名	脳、脊椎の先天異常
悪性腫瘍	0
脳血管障害	0
虚血性心疾患	0
糖尿病	0
手術あり患者数 [¶]	36
手術なし患者数 [¶]	25

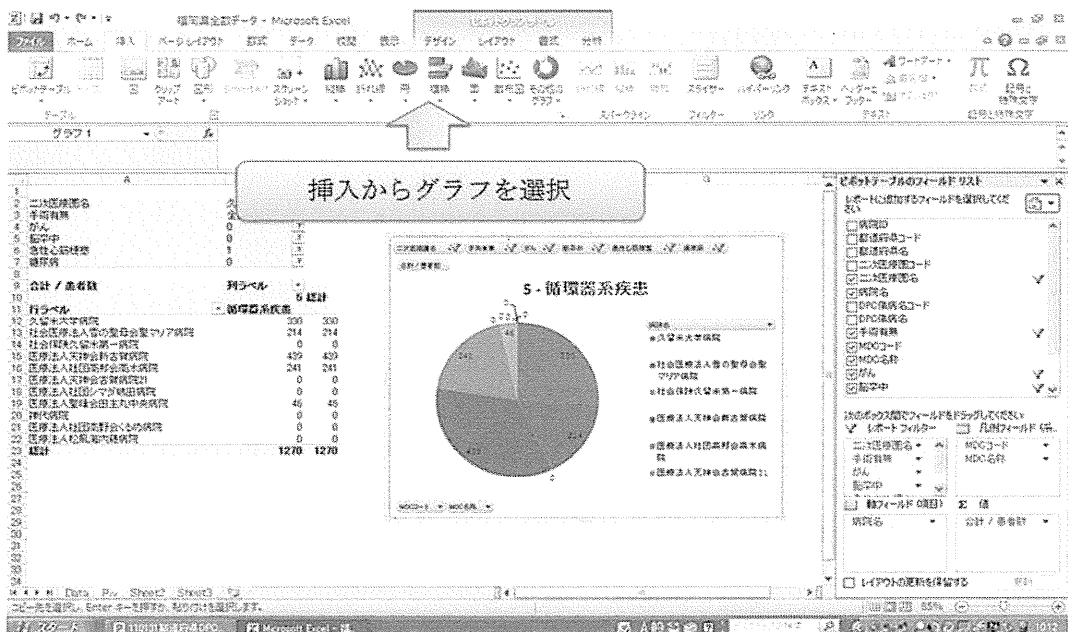
[¶]患者数は全て 1 ヶ月あたり退院患者数に換算

図 1. ピボットテーブルを用いた分析のイメージ



集計したピボットテーブルをグラフに表示するには挿入タブからグラフを選択します。

図 2. グラフの表示方法



作成にあたっては万全を期していますが、データの利用に当たっては自己の責任においてご活用ください。

厚生労働科学研究費補助金
政策科学総合研究事業
(政策科学推進研究事業)

急性期、回復期を含む医療機能に応じた
患者の病態評価と医療資源配分のあり方に関する研究

(H27-政策-指定-009)
平成27年度 総括・分担研究報告書

平成28(2016)年3月

研究代表者 伏見 清秀
(東京医科歯科大学大学院 医療政策情報学分野)

